



門川町立草川小学校 校長室便り

令和6年度 第7号
令和6年12月10日

先生方の笑顔が学校のエネルギー

皆様、「教員の働き方改革」という話題を耳にされたことがあるでしょうか。

報道では、中学校の部活動地域移行の話題が多く取り上げられますが、小学校でも改革を進めるように、国や県から強く指導を受けています。

宮崎県の働き方改革の目標値は、全職員、月の時間外勤務を45時間以内にすることです。これは、かなり難しい数字です。

例えば、午前7時に学校に来て一日の授業の準備をし、午後6時30分に帰宅する職員がいた場合、この職員は1日に3時間の時間外勤務をすることになります。月はだいたい20日ありますので、時間外勤務60時間となります。多くの教員にとっては、60時間は無理しているのではなく、必要な時間となっており、45時間以内にするには、何かを削らなければなりません。

学校では、午前中5時間授業にしたり、極力会議を減らしたりして、先生たちに少しでも余裕が出るようにと改革を進めています。少しずつその成果も出ていますが、まだまだ目標には遠いようです。

草川小の先生方を見ると、私からは、仕事に追われ過ぎている先生や土日に仕事をしている先生は、他と比べると少ないと見えています。また、先生方の笑顔も多く、放課後の職員室でも談笑が聞こえ楽しそうです。先生方は、ワーク・ライフバランスをしっかりと考え、趣味の時間や子育ての時間を確保してもらっているのかなと思っています。先生方の笑顔は、学校と子どもたちを元氣する一番のエネルギーです。

県内では、メンタルダウンにより休職されている先生方がいる中、草川小の先生方は全員元氣です。先生方には、これからもワーク・ライフバランスを大切に、楽しく仕事をして欲しいと願っています。

保護者の皆さん、地域の皆さん、先生方に会う機会がありましたら、「先生、働きすぎちゃらんね土日は休めちゃんね。」とひと声かけていただけたら嬉しいです。

体験に勝るものはないですね

最近、報道では、「児童生徒の家庭や地域における体験の差が広がっている」という話題を耳にします。私も若干そう感じている一人で、家庭での自然体験、社会体験、生活体験等の差が、子どもたちの成長に影響している感じる場面が多くなった気がします。特に、面接試験に関わる機会があると、中学生から大学生まで、面接の受け答えに、差を感じる人が多いです。

さて、もうすぐ冬休みです。大事な大事な子どもたちを家庭にお返しします。ご家庭ではどんな体験をさせていただけるのでしょうか。

例えばですが、華やかなクリスマスツリーを見に行くのもいいですね。餅つき、大掃除、元日には初日の出を見に行くことや初詣もいいですね。凧揚げや独楽回しもいいですね。考えるだけでワクワクします。

ぜひ、たくさんの体験をさせてあげてください。そして、年中行事の意味や習わし等をたくさん話してあげてください。

3学期が始まり、子どもたちがどんな体験話をしてくれるのかとても楽しみです。



【連載】小学校の先生「あるある」

- 年末・年始の休日が、一年間で一番何も考えずに休め、休んだ気になる。ただ、終業式までは、クリスマスまでは、冬休みの出勤日まではと賀状書きを後回しにしてしまい、年末は賀状書きに追われてしまう。
- 1月3日になると、前日までの心の余裕が嘘のように消え、3学期のことが気になり出し、焦ってくる。

充実している草川小HPへ
ぜひ、毎日閲覧してくださいね。



皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。